



株主の皆様へ



代表取締役社長 西尾 啓治

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、依然として厳しい状況にある中、ワクチン接種等の対策促進により景気の持ち直しが期待されています。しかしながら国内外の感染症の動向やサプライチェーンへの影響などにより、先行きは依然不透明な状況が続いております。

食品業界においては、内食需要は前年度の新型コロナウイルス感染症拡大の影響による増加が今年度は落ち着きを見せております。また外食需要は厳しい状況が続いておりますが、緊急事態宣言が解除されるなど明るい兆しも見えてきております。

このような環境下、当社グループは「グループ中期経営計画 2022」に基づき、「4つの事業分野（乳製品事業分野、市乳事業分野、ニュートリション事業分野、飼料・種苗事業分野）における収益基盤の確立」に向けた取組みを進めました。主な取組み事項としては、機能性を軸としたヨーグルトおよびチーズなどの主力商品の戦略的拡大とプロダクトミックスのさらなる改善、ニュートリション事業分野におけるマーケティング投資の継続による規模拡大と収益確保の両立、飼料・種苗事業分野における戦略的拡大と収益基盤の整備、ならびにグループ経営資源の活用拡大やバリューチェーンの生産性向上によるグループ総合力の強化等に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大が継続する中、従業員の感染予防に取り組み、お客様へ安全で安心していただける商品の安定供給に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、売上高は2,869億円（前年同期比1.4%増*）、営業利益は122億円（前年同期比10.1%増）、経常利益は132億円（前年同期比10.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は85億円（前年同期比19.2%増）となりました。

当社グループは「グループ中期経営計画 2022」に基づき、「生産性改革の推進」、「事業構造改革の断行」、「生産体制進化の本格始動」の3つを戦略の柱と位置付け、最終年度の2022年度に「4つの事業分野における収益基盤の確立」を実現するべく取り組んでまいります。

併せて、SDGsを含めCSR重要課題として掲げた社会課題の解決に取り組むことにより、「長期ビジョン」に掲げた「ミルク未来創造企業」の実現を目指してまいります。

今後とも、これまでと変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

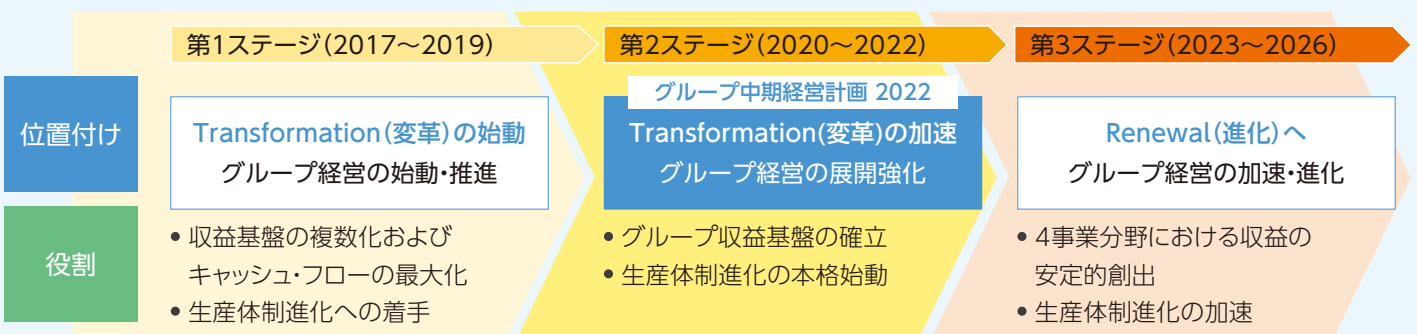
連結損益計算書の概要

（単位：億円、億円未満切り捨て）

	前第2四半期連結累計期間 (2020年4月1日～2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (2021年4月1日～2021年9月30日)	増減額	通期予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)
売上高*	2,829	2,869	39	5,700
営業利益	110	122	11	205
経常利益	119	132	12	215
親会社株主に帰属する四半期純利益	71	85	13	125

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、上記の売上高の前年同期比較については、当該会計基準等を前年同期にも適用したと仮定し比較を行なっています。

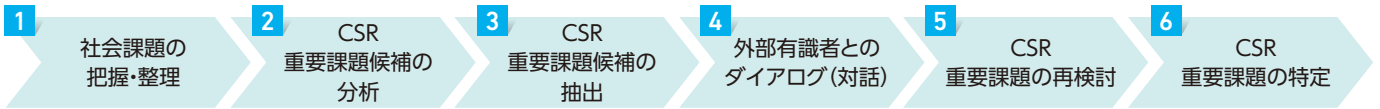
グループ長期ビジョン 2026



事業活動を通じた持続可能な社会実現への取り組み

雪印メグミルクグループは、事業活動を通して社会と共に持続的に成長していくCSR経営を目指しています。雪印メグミルクグループの事業への影響度と社会への影響度が高い課題を抽出し、5つのCSR重要課題(マテリアリティ)とKPI(重要管理指標)を設定しています。その取り組みの一部をご紹介します。詳細はホームページ(<https://www.meg-snow.com/csr/materiality/>)をご覧ください。

CSR重要課題(マテリアリティ)特定プロセス



CSR重要課題(マテリアリティ)

食と健康

乳(ミルク)による食と健康への貢献

重要取り組みテーマ

- 安全で安心していただける商品・サービスの提供
- 健康寿命延伸への貢献

KPI 食育活動を実施し、2019～2026年度で年間平均45,000人の参加を目指す。

環境

環境負荷の低減

重要取り組みテーマ

- 地球温暖化の防止

KPI 2030年度までに、CO₂排出量を2013年度比50%削減する。

- 持続可能な資源の利用

KPI 2030年度までに、石油由来のプラスチックの使用量(売上原単位)を2018年度比25%削減する。

- 循環型社会の形成

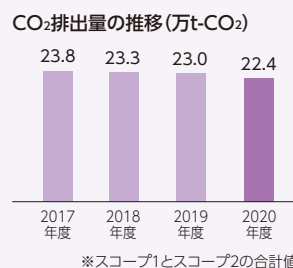
TOPIC 地球温暖化防止の取り組み事例

札幌工場と福岡工場にて、排ガス中に含まれる水蒸気を凝縮させることで熱回収する「超高効率ボイラ」を導入しました。従来比で約3%の都市ガス使用量の削減効果が期待できます。



ボイラ(札幌工場) ボイラ(福岡工場)

ほかにも照明のLED化や冷却設備、空調設備等で省エネ化を進めています。2020年度のCO₂排出量は22.4万t-CO₂で、2013年度比21.1%減となりました。



酪農

持続可能な酪農への貢献

重要取り組みテーマ

- 酪農生産基盤強化への取り組み推進

人と社会

多様な人材が活躍できる職場の実現

重要取り組みテーマ

- 人材の多様化と人材育成

KPI 2025年度までに女性経営職(管理職)比率10%以上にする。

- ワーク・ライフ・バランスの実現と労働生産性の向上

人と社会

地域社会への貢献

重要取り組みテーマ

- 地域社会とのパートナーシップ

TOPIC 小学生を対象とした夏休みオンライン自由研究「親子でミルク教室」を開催しました

夏休みのおうち時間、親子で身近な「ミルク」について学べるオンラインセミナーを行ないました。「牛乳が給食に毎日出てくるのはどうして?」を一緒に考えたり、牛乳が皆さんのところに届くまでや、「どんな牛さんがミルクを出してくれているのかな?」など、クイズをまじえて楽しく学び、自由研究に役立つ知識をお伝えしました。



オンラインセミナーの様子

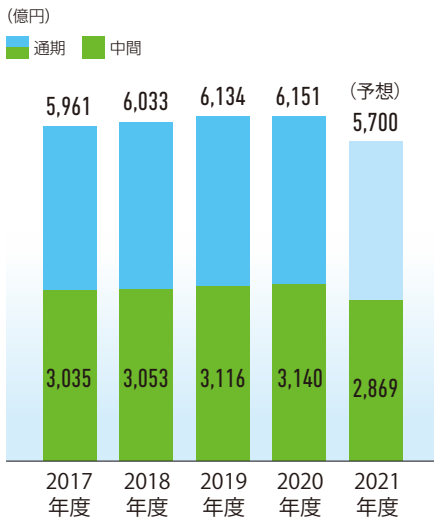


セミナーのワークシート

財務状況

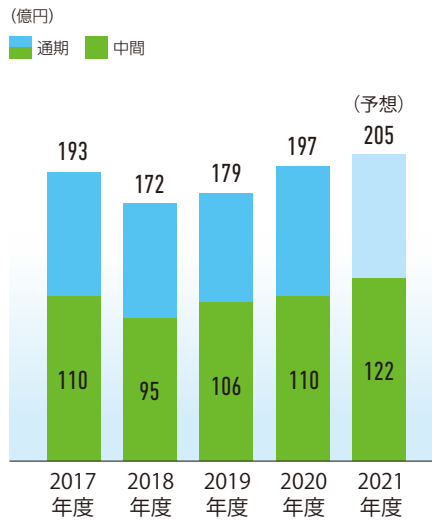
※金額は億円未満を切り捨てて記載しています。

売上高



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2021年度から適用していますが、2017年度から2020年度までの数値については当該会計基準等を適用する前の数値です。

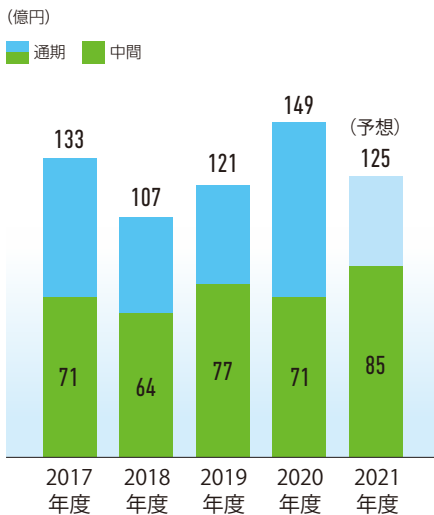
営業利益



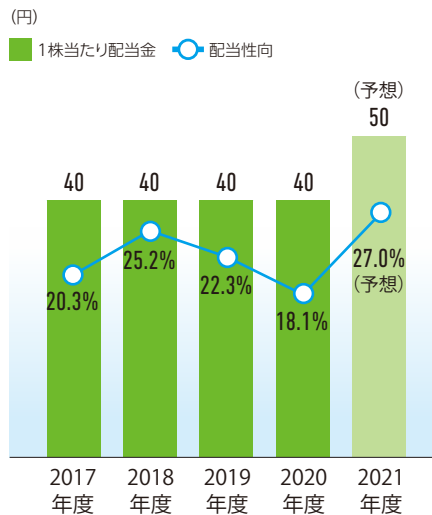
2021年度第2四半期連結累計期間の売上高は、収益認識会計基準適用により、約308億円減少していますが、その影響を除くと実質増収です。セグメント別の業績は右のページをご覧ください。なお、セグメント別の業績では、前年同期の実績についても収益認識会計基準を適用したと仮定して、算出した数値に基づき記載しています。

営業利益も、順調に増益を継続しております。2021年度の通期予想および中期経営計画の目標達成に向けて引き続き各事業分野の取組みを推進してまいります。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり配当金/配当性向



親会社株主に帰属する四半期純利益については、2020年度下期に遊休不動産を売却したことによる特別利益があったため、2021年度は減益の予想となっておりますが、第2四半期累計では営業利益と同様に増益となりました。

2021年度末には1株当たりの配当金を50円に増額し、配当性向は27.0%となる予想です(中間配当はございません)。「グループ長期ビジョン 2026」で掲げている水準である「配当性向30%以上」の実現に向け、引き続きキャッシュ・フローの創出力を高めてまいります。

連結貸借対照表の概要

前期末 (2021年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (2021年9月30日)
現金及び預金 218	現金及び預金 254
受取手形及び 売掛金 717	受取手形、 売掛金及び 契約資産 775
たな卸資産 599	たな卸資産 599
有形固定資産 1,772	有形固定資産 1,783
無形固定資産 35	無形固定資産 33
投資 その他の資産 561	投資 その他の資産 556
流動資産 1,617	流動資産 1,680
固定資産 2,369	固定資産 2,373
資産合計 3,986	資産合計 4,053

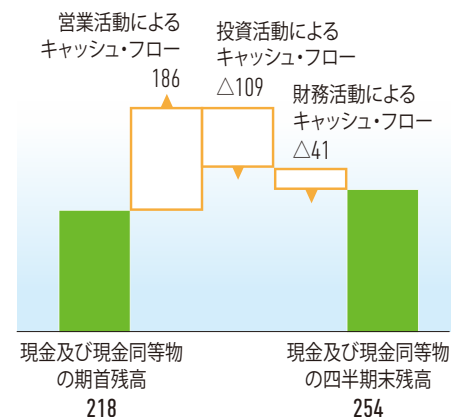
前期末 (2021年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (2021年9月30日)
短期借入金 320	短期借入金 323
社債 100	社債 100
長期借入金 320	長期借入金 318
流動負債 1,285	流動負債 1,316
固定負債 718	固定負債 709
株主資本 1,701	株主資本 1,754
その他の包括 利益累計額 250	その他の包括 利益累計額 246
純資産 1,982	純資産 2,027
負債・純資産合計 3,986	負債・純資産合計 4,053

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

当第2四半期連結累計期間

(2021年4月1日～2021年9月30日)

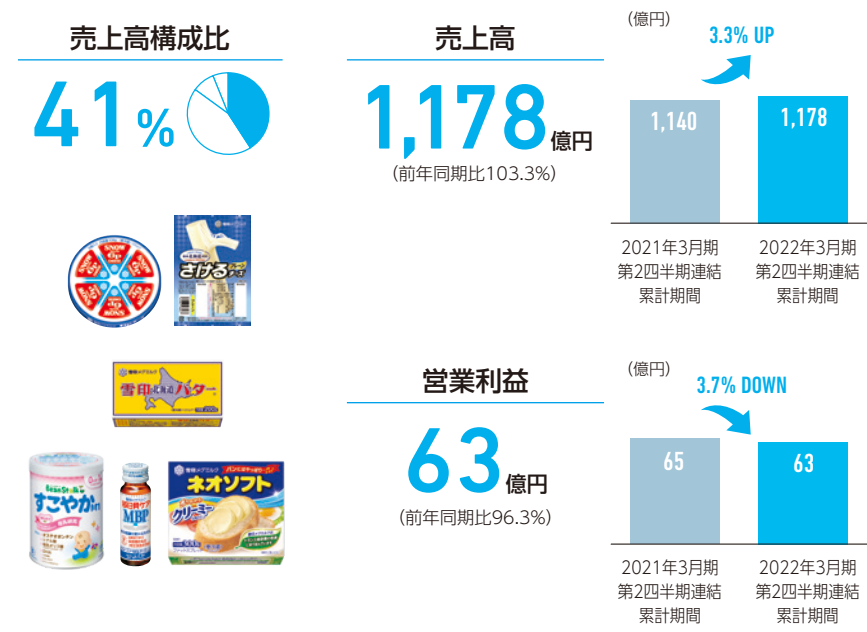
(億円)



セグメント別業績の概況および事業分野別取組み

※金額は億円未満を切り捨てて記載しています。
※下記の数値は全て「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用した数値にしています。

乳製品 バター、油脂、チーズ、ニュートリション事業(粉乳、機能性食品等) ほか



- ・バターは、家庭用は前年の需要増の反動もあり減収となりましたが、業務用商品の回復により全体では増収となりました。
- ・チーズについても全体では減収となりましたが、ナチュラルチーズ、海外のチーズ事業は堅調に推移しています。なお、営業利益が減益となった主な要因は、家庭用商品の反動減、油脂原料のコストアップなどによるものです。
- ・下期は、新商品発売をきっかけとした「6Pチーズ」の販売拡大や、カマンベールチーズの食べ方提案として「カマンフォンデュ」など、価格訴求によらないプロモーションを実施します。



今年度稼働を開始した機分内工場のバター新棟



チーズがそのままフォンデュの器になります



- ・定期購入型通販ビジネスを展開する機能性食品事業は、健康志向の高まりなどが追い風となり、販売は着実に伸長しています。今後も成長ドライバーのひとつとして育成していきます。



Web広告イメージ



「6P(ロッピー)チーズ」テレビCM

秋・冬の主な新商品

乳製品

『6Pチーズ ペッパー入り』
2種のペッパー入りで刺激のある味わいの「6Pチーズ」です。



6Pチーズ ペッパー入り
96g(6個入り)

乳製品

『発酵バター仕立てのマーガリン』

発酵バターを15%配合し、香りと味わいが楽しめるマーガリンです。



発酵バター仕立てのマーガリン
140g

ニュートリション

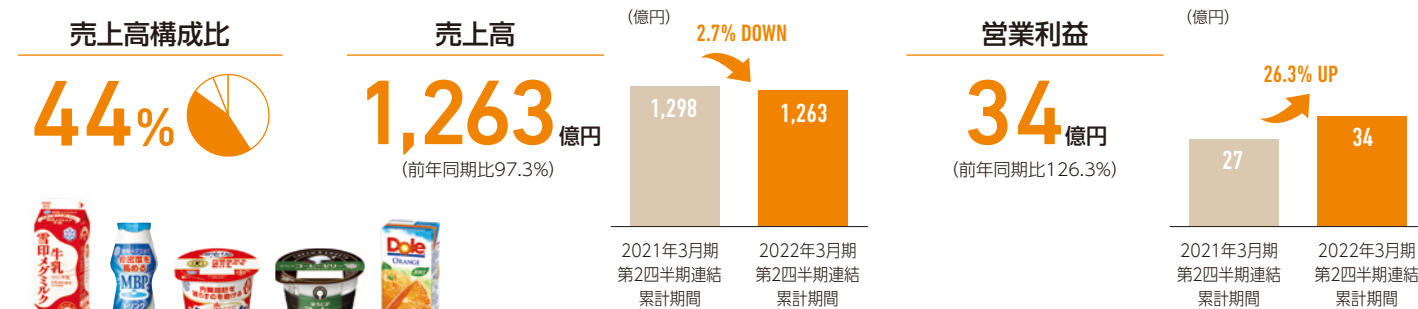
『栄養プラス 鉄入りおせんべい』
『栄養プラス カルシウム入りボーロ』
『栄養プラス 乳酸菌入りボーロ』

栄養素を手軽に摂ることができる、ベビー向けのおやつです。



15g(5g×3袋) 60g(15g×4袋) 60g(15g×4袋)

飲料・デザート類 牛乳・乳飲料、ヨーグルト、果汁・野菜・清涼飲料、デザート ほか



- ・上期は夏場の天候不順などで飲料類が振るわず、減収となりましたが、新商品の「MBPドリンク」等、高付加価値商品の構成比がアップしたことで増益となりました。
- ・ヨーグルトでは「ガセリ菌SP株ヨーグルト」が着実に販売回復し、デザートも引き続き好調でした。
- ・下期も引き続き、特定保健用食品や機能性表示食品のような高付加価値商品の販売拡大に努めます。

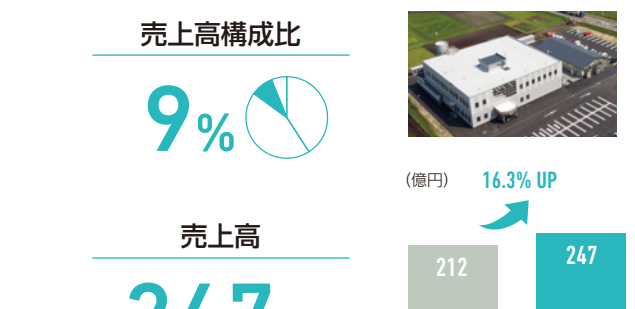


「MBPドリンク」テレビCM



「乳酸菌ヘルベヨーグルト」は2022年1月23日までキャンペーン実施中

飼料・種苗 飼料、種子(牧草・飼料作物・野菜)、環境緑化 ほか

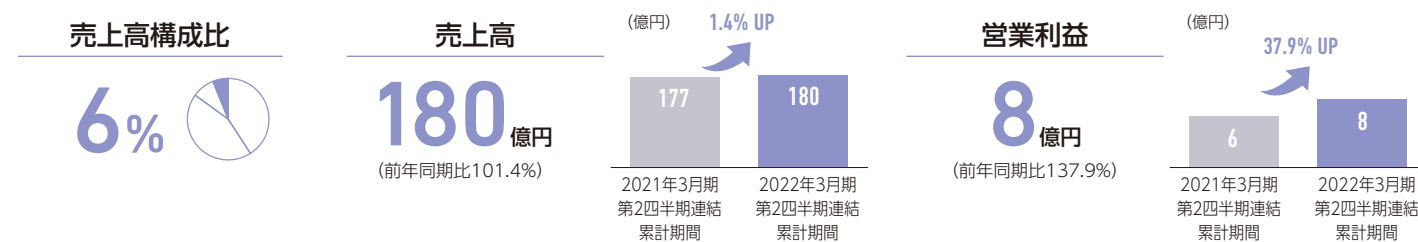


- ・上期は増収増益となりました。
- ・下期について、飼料事業は、ホクレンくみあい飼料株式会社との合併会社「ホクレンくみあい・雪印飼料株式会社」の新工場が12月に稼働を開始します。生産効率化、高品質化の実現を図っていきます。
- ・種苗事業は、海外からの輸入飼料価格が高止まりする中、自給飼料型酪農の推進に向け、牧草種子などの販売拡大に取り組んでいきます。



イネ科牧草オーチャードグラス「えさじまん」

その他 共同配送センター事業、不動産賃貸事業 ほか



市乳

『ベジサポ 速菜チャージ 野菜&フルーツミックス』
『ベジサポ 速菜チャージ 青汁ミックス』

手軽にクイッと飲めて、1食分の野菜と健康機能が得られる機能性野菜飲料です。



各100ml

機能性表示食品(届出番号:F722-F721)
・届出表示本品には難消化性デキストリン(食物繊維)が含まれます。難消化性デキストリン(食物繊維)には食事の脂肪や糖の吸収を抑える機能があることが報告されています。また、おなかの調子を整える機能があることが報告されています。
・機能性関与成分:難消化性デキストリン(食物繊維)
・本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。また、特定保健用食品とは異なります。
・食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

市乳

『乳酸菌ヘルベヨーグルト』
「乳酸菌ヘルベ」が目や鼻の不快感を緩和する、食べるタイプのシンプルなヨーグルトです。



乳酸菌ヘルベヨーグルト
100g

機能性表示食品(届出番号:F870)
・届出表示本品にはL. helveticus SBT2171(乳酸菌ヘルベ)が含まれます。乳酸菌ヘルベには、目や鼻の不快感を緩和する機能があることが報告されています。
・機能性関与成分:L. helveticus SBT2171(乳酸菌ヘルベ)
・本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。また、特定保健用食品とは異なります。
・食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

会社概要

商号 雪印メグミルク株式会社
 事業内容 牛乳、乳製品および食品の製造・販売等
 本店所在地 北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号
 本社所在地 東京都新宿区四谷本塩町5番1号
 設立年月日 2009年10月1日
 資本金 200億円
 決算期 3月31日
 従業員数 5,742名(連結)

経営体制

代表取締役社長 西尾 啓 治
 代表取締役副社長 西馬場 茂
 代表取締役副社長 本井 秀 樹
 取締役常務執行役員 井上 剛 彦
 取締役常務執行役員 稲葉 聡
 取締役(社外) 阿南 久
 取締役監査等委員 幸坂 真 也
 取締役監査等委員(社外) 西川 郁 生
 取締役監査等委員(社外) 服部 明 人
 常務執行役員 小坂橋 正 人
 常務執行役員 末安 亮 一
 常務執行役員 川崎 功 博
 常務執行役員 渡辺 滋
 常務執行役員 戸邊 誠 司
 常務執行役員 佐藤 雅 俊
 常務執行役員 岩橋 貞 治
 常務執行役員 堀 成 輝
 常務執行役員 石井 智 実
 常務執行役員 中村 俊 宏
 常務執行役員 山本 幸 弘
 執行役員 小林 敏 也

株式の状況

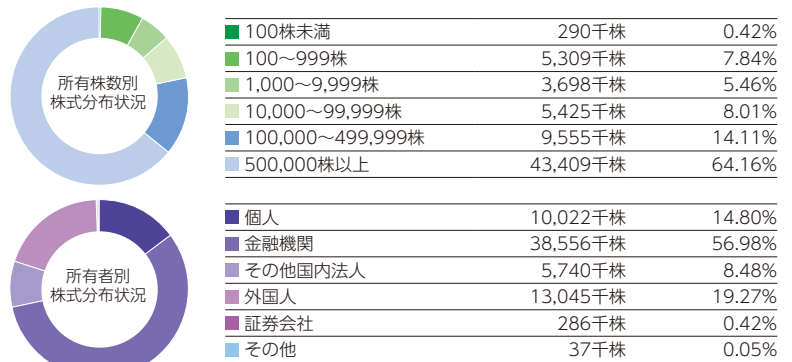
発行可能株式総数 280,000,000株
 発行済株式の総数 70,751,855株
 株主数 43,465名

大株主(上位10位)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
全国農業協同組合連合会	9,237	13.64
農林中央金庫	6,728	9.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,147	9.08
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,711	5.48
株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行再信託分・伊藤忠商事株式会社退職給付信託口)	3,703	5.47
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,805	2.66
雪印メグミルク従業員持株会	1,205	1.78
株式会社三菱UFJ銀行	1,083	1.60
ホクレン農業協同組合連合会	1,074	1.58
全国酪農業協同組合連合会	1,008	1.48

(注1) 株式数は、千株未満を切り捨て表示しています。
 (注2) 当社は、自己株式3,062,900株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況



(注1) 株式数は、千株未満を切り捨て表示しています。
 (注2) 当社は、自己株式3,062,900株を保有しておりますが、上記からは控除して計算しております。

株主様アンケート

200名様に
Amazonギフト券
(Eメールタイプ)500円分
をプレゼント!

株主の皆様の声をお聞かせください

株主の皆様への情報開示の充実に努め、当社の経営をより一層ご理解いただけるIR活動を行なっていきたいと考えています。ぜひアンケートにご協力ください。

アンケートサイト(画面)への接続方法 インターネットの検索エンジンからアンケートサイトを呼び出してください。

株主ひろば 検索



https://kabuhiro.jp
アンケートナンバー 22702201



ご回答方法 アンケート実施期間: 2022年1月31日まで

アンケートサイト(https://kabuhiro.jp)画面中央の入力ボックスに、アンケートナンバー(22702201)を入力して回答画面にお進みください。

このアンケートは、集計作業の迅速化を目的として、株式会社アイ・アール ジャパン(IR支援会社)が運営するWebアンケートシステム「株主ひろば」を利用して実施しています。アンケートシステムに関するお問い合わせは株式会社アイ・アール ジャパン 株主ひろば事務局まで(E-mail: kabuhiro@irjapan.co.jp)



Amazon, Amazon.co.jpおよびそれらのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

雪印メグミルク株式会社